

第2回かながわ教育学講座

8月26日(日)に第2回かながわ教育学講座が総合教育センターで開催されました。暦の上では秋を迎えても連日暑さが続く中、今回も熱意あふれる講座となりました。

講演「神奈川県の求める教職員像」

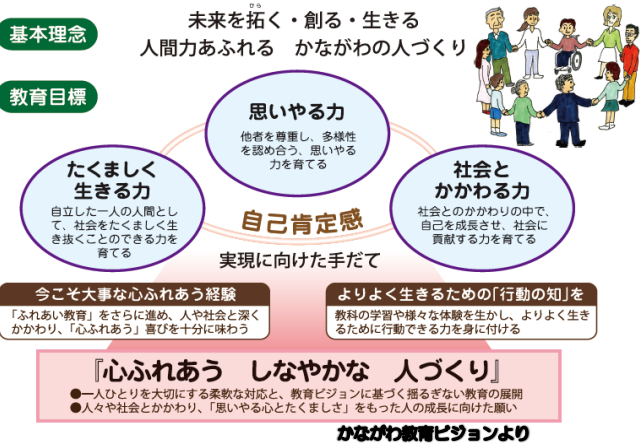
第2回かながわ教育学講座のテーマは「神奈川県の求める教職員像」です。講座の前半では、総合教育センター 戸田 崇 教育事業部長による講義がありました。

ここでは、「かながわ教育ビジョン」を通して、かながわティーチャーズカレッジの意義と、求められる教員の資質、能力について理解を深めることをねらいとして、講義が進められました。

初めに、カレッジを通して神奈川県の教育について理解を深め、講座や学校等での活動を通して実践力の向上を図り、教職に求められる使命感と責任感を高めていくというカレッジの目的を確認しました。



戸田 崇 教育事業部長



次に、教育の総合的な指針として策定された「かながわ教育ビジョン」の基本理念・教育目標を踏まえながら、神奈川県が求めている教員の姿である「めざすべき教職員像」についての説明がありました。「めざすべき教職員像」は「人格的資質・情熱」「課題解決力」「授業力」の3つの要素でできています。今回は特に、「人格的資質・情熱」について取りあげ、その重要性を学びました。「人格的資質・情熱」は、教員が備えるべき不易なもので、教員になる前から磨くことができます。そのためには何をすればよいか、何を学んだら良いかを考える機会になったのではないのでしょうか。

最後に「カレッジ生は教員のライフステージの中で、養成期に位置づけられる。めざすべき教職員像をしっかりとイメージして、身につけるべき項目を確認し、カレッジでの活動や学び、そして日常の学びや行動につなげていっていただきたい。」との話がありました。

教育事業部長自身の経験も踏まえながらの熱いメッセージが込められた講義であり、カレッジを受講する意義、教員という仕事の在り方について改めて見直し、学びを深めることができた貴重な機会となりました。



グループ活動

ワークシートにある「期待される受講者」と照らして、現在の自分の姿を見つめ、今後の学びに対する目標を設定し、グループで話し合いながら、「めざすべき教職員像」を考えました。

グループ活動では、前半の講義内容を踏まえて、「めざすべき教職員像」の中の「人格的資質・情熱」に示されている項目のうち1つについて話し合い、意見をまとめました。「人格的資質・情熱」に示されている項目は次のとおりです。

教職員としての人格的資質・教職への情熱

- ①豊かな人間性と社会性、高い対人関係能力とコミュニケーション能力をもっている
- ②子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている
- ③高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる
- ④変化に対応し、学び続ける向上心をもっている

「教職員人材確保・育成計画」より

まず、3～4人程度の班に分かれ、「具体的にはどのような姿なのか」「学校で子どもと関わっている教員の姿はどのような姿なのか」を話し合い、めざすべき姿を明確にし、めざすべき姿に迫るために、講義の内容を踏まえて「どのようなこと



を心がけていくか」を付せんに書き出しました。集中した雰囲気の中、真剣なまなざしで付せんに書き出す姿が印象的でした。

そして、自分が書いた付せんに、説明を加えながら模造紙に貼り、出てきた意見を集約しながら、模造紙にまとめる活動を行いました。同じ意見をもった人、異なる意見をもった人、自分の気づかなかった視点から意見を述べる人など、班で話し合いながら関わりあって活動することで、協議の内容を深めることができました。

その後は、各班の代表、または全員で分担しながら、協議したことをグループ全体場で発表しました。分類したものを分かりやすく色分けをして示したり、イラストを入れたり、どの班も分かりやすく工夫して、まとめました。全員で協力しながら発表のための掲示物を仕上げるということができたという達成感があるように感じられました。



班だけでなく、全体で意見を交流することで、さらに協議内容の深まりがみられ、一人ひとりの学びの充実にもつなげることができました。

最後に、各グループ担当者からのまとめを聞き、講座を振り返り、成果と課題を明確にして終わることができました。

個人のワークシートのまとめの欄には、講義・協議を通じて気づいたことや深まったことなどが欄いっぱい書かれていて、今回の講座で受講者が学んだことの多さを感じました。次回の「かながわ教育学講座」での学びにも期待がもてる取組であったと感じました。